

イメージをする

まずは教科書の解剖をいったん捨ててください。

おおよその位置関係だけをイメージしてください。

教科書の解剖はモデル体型です。

実際には、高齢であったり、痩せていたり、太っていたりします。もちろん身長も違うはずです。

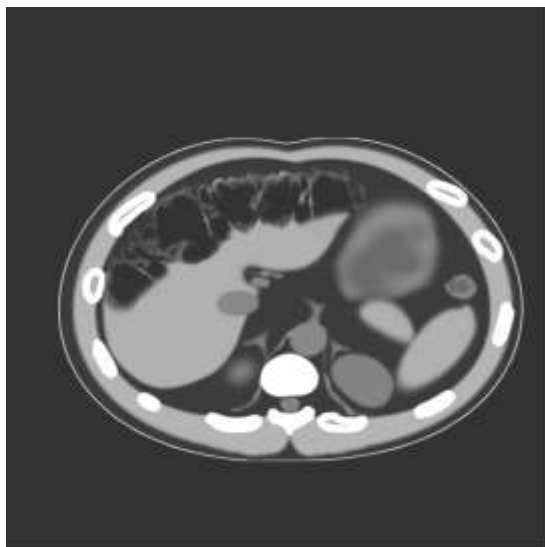


いかがでしょうか？

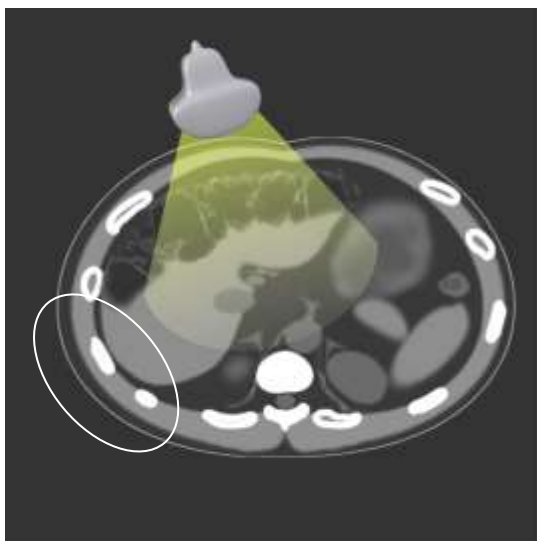
太った方の解剖の本も、痩せた方の解剖の本も、高齢の方の解剖の本も売っていないはずですが、位置関係は変わらないはずですが。

ですが、位置関係は変わらないはずですが。

これを CT でイメージすると



即ち、普段アプローチする肋骨弓下走査は「無駄」ということになります。どんなにすごい方がエコーを撮っても、物理的にはエコーはガスに勝てません。



CT の画像を参考にしてください。

丸で囲んだ部分がアプローチをする場所になるはずですが。

FAST とは？

Focused **A**ssessment
with **S**onography for **T**rauma
のことです。

外傷や、緊急時の見方です。

心膜腔内液体貯留 ①

胸腔内液体貯留 ③④

腹腔内液体貯留 ②⑤⑥

即ち、お水（リークした血液）のたまりやすい場所を的確にとらえること。

